

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の本質・目的	社会福祉	鈴木 勲	1年次	春

授業のキーワード	社会福祉の基礎理念、政策実践理論、新しい援助実践の動向
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	社会福祉の理念や制度、政策などを幅広く総合的に学ぶ。また、テキストの章末にある「討論テーマと視点」なども利用し、保育者に必要な基礎知識を身につけていくことを目的とする。
履修のアドバイス・前提科目等	講義を受けながら、受講者自身が見知を深められる時間を重視している。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。	第9講	障がい者の自立と社会福祉	現代社会と障がい者問題について学ぶ。
第2講	人間の発達と社会福祉	社会福祉の理念及び社会福祉制度の変容を理解する。	第10講	社会福祉の法制度と行政のしくみ	社会福祉の法体系と行政のしくみを理解する。
第3講	平和・人権・福祉－憲法と社会福祉	人間の安全保障を考える。	第11講	社会福祉の機関と施設の役割	それぞれの生活課題に対応する福祉の実施機関について学ぶ。
第4講	暮らしの現実と社会福祉	地域で暮らす多様な人たちと社会福祉の在り方について学ぶ。	第12講	福祉権確立の歩み	社会福祉裁判や社会福祉運動の役割について理解する。
第5講	社会福祉の基本理念	ノーマライゼーション理念の生成と意義について学ぶ。	第13講	社会福祉援助技術の意義と方法	社会福祉援助技術の方法と評価について学ぶ。
第6講	暮らしの危機と所得保障	日本の所得保障について理解する。	第14講	授業のまとめと振り返り	本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明を行う。
第7講	人々の権利を守るしくみ－権利擁護の現状と課題	社会福祉における権利擁護の必要性について学ぶ。	第15講	定期試験もしくはレポートの提出	
第8講	高齢期の生活問題と社会福祉	介護保険制度や高齢者福祉の課題について理解する。	評価方法		出席60%、定期試験40%の配分とする。また、毎講義リアクションペーパーの提出を持って出席とする。
備考 (関連する資格・試験等)	授業展開は予定であり、授業の進度などにより、内容などが変更される場合もある。子ども家庭福祉分野は、「児童家庭福祉」などでも学習することができるため、本科目では割愛した。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
鈴木勉編著『シードブック社会福祉 暮らし・平和・人権』建帛社 2008年			随時、授業中に紹介する。		